

学校名 [通町小 学校]

氏名 [教諭 安附 仁]

[小] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [ぼうさいリュックをいしよう] P36～37

教科・領域名 [学級活動] [時間 45分]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

・もしもに備えて、自分の家の防災リュックを準備する意識をもつ。

1 遠足に行く時のリュックに入っているものを思い出し確かめる。(遠足に行く時、リュックの中に何が入っていたかな?)

(・おやつ・お弁当・タオル・ビニル袋 他)

【児童に伝えたこと】

リュックは、たくさんのもが入り、手が自由になるのでとても便利であることを知らせる。

2 防災リュックの中に入れる必要なものを考え選ぶ。(「電気や水道・ガスがない無人島に1週間過ごすことになったら、リュックの中に何を入れますか?」)

(缶詰・薬箱・水・ラジオ・ホッカイロ 他)

*「防災」という言葉に震災への恐怖を思い出す児童がいるので、無人島に代えた。

【児童に伝えたいこと】

防災リュックの中に入れるものを選び、友達と比較し話し合い、担任が支援しながら必要なもの(「必ず必要なもの」と「あると便利なもの」)を知らせる。そして「クラスみんなが考えた防災リュック」を完成させることによって防災の意識をもたせる。

3 「わが家の防災リュックをいしよう」を読み、「わが家の防災リュック」について考える。(「家族の人と、今日の防災リュックについてお話してね。」)

【児童に伝えたいこと】

「クラスみんなが考えた防災リュック」を完成する前に、一人一人が選んだものに違いがあったことを思い出させ、それぞれの家で家族構成が違うので、自分の家の防災リュックを準備することに気付かせる。

【準備物】

・リュック (遠足用・防災用)

・リュックに入れる主な物

(おやつ・お弁当箱・敷物・ビニル袋・タオル・水・ジュース・着替え・薬箱・携帯ラジオ・懐中電灯・ホッカイロ・財布 他)



【学習形態】 グループ学習

自分が必要と思われるものを選んで、友達に説明したり、友達の選んだものとその理を聞いたりしながら、「クラスみんなが考えたリュック」を作っていた。



【児童の感想から】

リュックの中に入れるものは、みんな違うこと分かった。みんなで楽しく選ぶことができた。ぼくが選んだものが決まってよかった。お母さんにもリュックのこと話したい。